

# 富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」  
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048 (771) 0505

令和6年10月 1日

発行責任者

校長 吉田 充

## 身に付けさせたい力～埼玉県学力学習状況調査結果から～

校長 吉田 充

猛暑続きの日々もようやく終わりを迎え、秋の涼しさが感じられるようになりました。

さて、1学期に4年生以上で実施した埼玉県学力学習状況調査の結果をお渡しいたしました。この調査の大きな特徴は、子供たちが自分の現在の實力を知り、どれだけ自分が伸びたかを実感させるために、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えていることです。小学4年から中学3年まで継続して伸びを追跡することで、子供たちの成長していく姿が見える全国でも初めての調査です。

本校の結果は、基礎的な知識や技能は概ね身につけており、全体的には良好といえます。その一方で、例えば国語では、文章全体から必要な情報を引き出したり、自分の意見を理由づけて記述したりする問題や、算数では、求め方を考えたり、根拠を明確にして説明したりする問題につまずく児童が多く見受けられました。

こうした結果から、本校児童にはただ単に答えを求めるだけではなく、「なぜそう考えたか」「別の考え方はないか」など、思考の過程を重視した学習が大切であると考えています。

本校はこれまでも、見通しをもちながら自分の考えをまとめ、ノートやICT端末に書いたり、教師や友達の発表を聞いて発言したりすることを重視した授業の工夫・改善に努めてまいりました。今後もこうした実践を継続的に積み上げ、児童が主体的に学習に取り組み、自ら進んで問題解決できる力を養っていきたいと考えています。

### 学力と読書、そしてデジタル機器

昨年度の本調査に関する県の公表では、読書量が多い児童生徒ほど学力が高い傾向にあるとのことでした。本を読むことで言葉や数字などの理解力や記憶力、思考力や判断力が鍛えられるほか、読書活動が多い子供ほど、物事に対する意欲や興味・関心が高く、何事にも進んで取り組み、いろいろと考えてみようとするからかもしれません。

また、スマートフォンやタブレットなどのデジタル機器の使い方について、家庭での約束事がしっかり決められている児童生徒の方が学力が高い傾向にあることもわかりました。デジタル機器は、子供たちにとって今や学習の道具でもあり、生活の一部として欠かせないものとなりましたが、ネットやゲームへの依存など、心身の発達に悪影響を及ぼす危険性もあります。ぜひご家庭でも、使用する際の約束についてご確認いただければと思います。

学校教育目標「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」に向け、自ら考え、主体的に問題解決に取り組める児童を育ててまいりたいと考えています。今後も一人一人のよさを見出し、伸ばす教育を行っていきたいと思います。保護者、地域の皆様方には、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。